学校だより10月号

令和８年１０月１日発行
和歌山市立楠見東小学校

【実りの秋】

日中はまだ残暑を感じる日もありますが、朝夕の心地よい風や虫の音に、少しずつ季節の移り変わりを実感できるようになってきました。厳しかった夏の暑さもようやくやわらぎ、子どもたちが思い切り体を動かしたり、じっくりと読書や学習、アートに向き合ったりするのにとてもふさわしい季節を迎えています。さて、秋は、学校生活の中でも子どもたちが大きく成長する大切な時期です。１０月からは、運動会をはじめ、秋の遠足や６年生の修学旅行など、心身を育む貴重な行事が目白押しです。これらの行事は、単なるイベントではなく、子どもたちにとって新しい発見や挑戦、そして仲間と励まし合い協力する大切さを体感するかけがえのない機会となります。



【運動会の練習が始まります】

いよいよ今週から、運動会の練習が本格的にスタートします。今年度も、子どもたちの健康面や近年の気候を考慮し、熱中症防止の観点から開催時期を１０月下旬に設定いたしました。私たち教職員も、安全管理や体調観察に万全を期しながら、日々の練習や準備を丁寧にサポートしてまいります。子どもたちが仲間とともに声を掛け合い、最高のパフォーマンスを目指して伸び伸びと体を動かす姿を、ぜひ多くの方にご覧いただきたいと思います。練習の成果とともに、この期間を通してたくましく成長する姿をどうぞ楽しみにしていてください。

【「やってみる」の小さな一歩】



「失敗は学びの宝物」という言葉があります。新しいことに向かうとき、子どもたちの心には「できるかな？」という不安と「やってみたい！」という期待が膨らみます。少し立ち止まる姿も、自分の心と真剣に向き合っている大切な成長の証です。

一歩を踏み出すきっかけになるのは、子ども自身の「やってみよう」という勇気と、周りの温かいまなざしです。学校でも子どもたちの「やってみたい」に寄り添い、たくさんの声援を送っていきます。

ご家庭でも、もし不安そうにしている時には「大丈夫、見守っているよ」と優しく背中を押していただけたら幸いです。この秋、たくさんの「できた！」に出会えるよう、保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

（校長　岩﨑 新太郎）